

# Rの準備1：インストール

- CRAN（のミラーサイト）からダウンロードしてインストールする
  - 身近なミラー：<http://cran.ism.ac.jp/>（統計数理研究所）
- インストールの方法
  - 自分のコンピュータにあったファイル（OSの種類やバージョンによって異なる）を選び、ダウンロード
  - ダウンロードしたファイルをクリックし、インストーラを開く
  - インストーラの指示に従ってインストールする

## Rの準備2：RStudioのインストールと設定

- <http://www.rstudio.com/products/rstudio/download/> で自分のOS にInstaller をダウンロードする
- ダウンロードしたInstaller をクリックし、指示に従ってインストールする
- RStudio を開き、<RStudio> -> <Preferences> で自分の使い易いように設定する（注：General タブにある “Default text encoding” は 「UTF-8」 にしておくこと）

# Rの準備3：X11 (XQuartz) のインストール

- Mac でRを使うときはX11があったほうが便利なので、XQuartzを利用する

- インストール法

- 1.XQuartz の .dmg ファイルをダウンロード：以下のURLにある “Quick Download”のところから最新版をダウンロードする  
<http://xquartz.macosforge.org/landing/>

- 2.XQuartz のインストーラを起動：ダウンロードした .dmg ファイルを開き、XQuartz.pkg をクリックする

- 3.インストーラの指示に従ってインストールを進める

# Rの準備4：日本語の設定

- Rでは日本語を使うことができるが、通常は英数字のみを使うほうが無難
- ただし、図のキャプションでは日本語を使いたい
- 図で日本語を使うと文字化けする！
- 対処法
  - その場しのぎの方法
  - .Rprofile の設定（推奨）
  - ggplot2を使う場合

# Rの準備4：日本語の設定

## その場しのぎの対処法

- 日本語を使う図の直前に、フォントを指定する以下のコマンドを入力する

- `par(family = “フォント名”)`

- ▶ 日本語を表示できるフォント名を選ぶこと

- たとえば、ヒラギノ角ゴシックを指定するには、

- `par(family = “HiraKakuPro-W3”)`

- とする

- 自分の環境で利用できるフォントは、次のコマンドで確認する

- `quartzFonts()`

## Rの準備4：日本語の設定

### .Rprofile の設定

- ホームディレクトリ（通常は /Users/ユーザ名/, ~/でアクセス可）に「.Rprofile」というファイルを作る（最初の“.”は必須）
- .Rprofile の中に設定を書き込む
- Rは起動時に .Rprofile に書かれた設定を読み込む
- .Rprofileの中身については授業のウェブページを参照

# 補足：Windowsの場合

- 時間と担当者の能力の制約により、Windowsの場合については説明しません
- 教科書やRの参考書、インターネットなどを利用して自力で設定してください
- どうしてもわからないときは、パソコン持参でオフィスアワーに来てください